

社会資本総合整備計画
都市再生整備計画 事後評価シート

伊勢原駅周辺地区








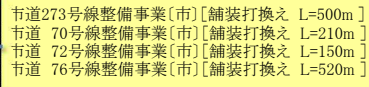

平成26年3月

神奈川県伊勢原市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	伊勢原市		地区名	伊勢原駅周辺地区			面積	350 ha	
交付期間	平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成25年		交付対象事業費	271(百万円)	国費率	0.4			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
			基幹事業	街路(都市計画道路牛塚下原線)、道路(市道70号線整備事業・市道72号線整備事業・市道76号線整備事業・市道73号線整備事業)、公園(コミュニティパーク整備事業)、地域生活基盤施設(帰宅困難者避難所誘導看板整備事業、耐震性飲料水兼用貯水槽整備事業、広場整備事業、防災無線可聴区域拡大整備事業)、高質空間形成施設(歩行者回遊ストリート形成事業)								
	当初計画から削除した事業		事業名									
			提案事業	域創造支援事業(伊勢原駅南口駐輪場耐震改修)、事業活用調査(公共施設等再編計画策定調査・計画進行管理)								
	新たに追加した事業		事業名									
			提案事業	地域保健福祉ステーション整備事業								
交付期間の変更		当初	平成21年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし					
		変更										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
	指標1	街なか南北往来者数	人/14h	9,367	H20	9,400	H25	4,934	△	あり	伊勢原駅の自由通路のバリアフリー化により利便性が向上したことで、駅を南北に利用して買い物等にできる生活スタイルから、駅を利用して出かけるスタイルへの変更に伴い、南北往来者数は減少し目標達成に至らなかった。しかしながら、駅全体の利用者は向上し、賑わいの向上にはつながっている。そのため目標達成度を△とした。詳細については、その他の数値指標1のとおり。	-
	指標2	伊勢原南公民館の利用者数	人/年	31,139	H20	36,000	H25	35,032	△	あり	予定していた伊勢原南公民館の館内施設機能更新としての地域福祉ステーション整備ができなかったことから、目標未達成となったが、市民団体等の利用は堅調に増加しており、引き続き利用者の増加が期待できる。	-
	指標3	防災訓練時のアンケート調査(飲料水の備蓄世帯率)	%	55	H20	60	H25	71	○	あり	伊勢原駅周辺の防災対策施設の整備とともに、整備した施設の認知促進を含めた防災訓練を実施したことにより、市民の防災に対する意識向上につながることができた。	-
	指標4	歩行者のバリア解消率	%	63	H20	100	H25	100	○	あり	「伊勢原市交通バリアフリー基本構想(H17.3)」に基づく、必要とされるバリアの解消について、前回の都市再生整備計画事業から、着実な整備を実施でき、バリアフリー化を完了することができた。	-
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
	その他の数値指標1	伊勢原駅全体の利用者数	人/14h	42,299	H20			53,698			伊勢原駅自由通路のバリアフリー整備により、高齢者等の利便性が向上したことなども効果を発揮し、近年減少傾向であった駅全体の利用者数の増加につながった。	-
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 参加型による下原公園のリニューアル整備後、地元の方々による花植えや清掃などにより良好な環境が維持されるとともに、きれいで開放的な公園となったことで利用者も増加した。 広場整備後、市内の登録されたボランティア等により花植え活動が行われている。花で常にきれいにすることでごみのポイ捨てが減少する効果が見られた。またベンチの設置によりまちなかの休憩施設として利用されるようになった。 牛塚下原線は、連続的な歩道を確保し安全な歩行空間とするとともに、無電柱化や歩道のブロック舗装、デザイン街路灯により、駅前にふさわしい開放的で良好な都市的景観を有する歩行空間となった。 舗装の老朽化により歩行者への泥はねや、停止線や横断歩道が見えにくいなど課題のあった路線について、道路改修を実施することで、歩行者が歩きやすい道路空間として改善された。 											
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等
	モニタリング	なし										なし
	住民参加プロセス	<ul style="list-style-type: none"> 下原公園整備での地域住民、公園愛護会とのワークショップを通じ、公園の課題や計画の確認の上、住民参加型の公園づくりができ、公園に対する愛情を深めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 									<ul style="list-style-type: none"> ● 今後は公園愛護会により、市との協働事業として継続的、自主的に公園等の美化活動等を行っていく。
持続的なまちづくり体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 地域の支え合い組織(仮称)の立ち上げ支援 平成24年度に地域住民が互いに連携し、助け合い支え合える仕組みづくりを自治会単位で進めるため、伊勢原南地区でモデル事業を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 									<ul style="list-style-type: none"> ● モデル事業をもとに、引き続き、自治会単位での、「地域における支え合い・助け合いの仕組みづくり」の支援を行っていく。 	

様式2-2 地区の概要

伊勢原駅周辺地区(神奈川県伊勢原市) 都市再生整備計画の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
【目標1】交通環境の改善とまちの賑わい向上 ・伊勢原駅周辺地区の交通環境の整備改善を着実に推進するとともに、「市民が愛着をもって育み」「人が集まり回遊する」伊勢原の玄関としてふさわしい、ゆとりと賑わいのあるまちづくりを進めます。 【目標2】安全、安心のまちづくりの推進 ・災害時における安全な避難誘導の確保・向上を図るとともに、行政地区周辺における医療施設整備などに合わせて地域の福祉・子育ての交流機能の向上を図り、安全、安心なまちづくりを推進します。 【目標3】バリアフリーの着実な推進と生活環境の改善 ・バリアフリー特定経路の整備を促進するとともに、既存ストックの機能強化などにより、身近な生活環境の改善を推進します。		街なか南北往来者数	単位:人/14h	9,367	H20	9,400	H25	4,394	H25
		伊勢原南公民館の利用者数	単位:人/年	31,139	H19	36,000	H25	35,032	H25
		防災訓練時のアンケート調査(飲料水の備蓄世帯率)	単位:%	55	H20	60	H25	71	H25
		歩行者のバリア解消率	単位:%	63	H20	100	H25	100	H25
		伊勢原駅全体の利用者数	人/14h	42,299	H20			53,698	H25
■ 基幹事業 耐震性飲料水兼用貯水槽整備事業〔市〕 [伊勢原小学校 100t]				■ 基幹事業 地域生活基盤施設 広場整備事業〔市〕 [A=97㎡]				■ 基幹事業 帰宅困難者避難所誘導看板整備事業〔市〕 [伊勢原駅～中沢中学校]	
■ 基幹事業 都市計画道路牛塚下原線整備事業〔市〕 [W=16m L=320m]				■ 基幹事業 防災無線可聴区域拡大整備事業〔市〕 [千津公園地内]				■ 基幹事業 コミュニティパーク整備事業〔市〕 [下原公園 A=1,113㎡]	
■ 基幹事業 歩行者回遊ストリート形成事業〔市〕 [デザイン舗装等]				□ 提案事業 伊勢原駅南口自転車駐車場整備事業〔市〕 [耐震改修 延べ:785㎡]				■ 基幹事業 市道273号線整備事業〔市〕[舗装打換え L=500m] 市道 70号線整備事業〔市〕[舗装打換え L=210m] 市道 72号線整備事業〔市〕[舗装打換え L=150m] 市道 76号線整備事業〔市〕[舗装打換え L=520m]	
まちの課題の変化		・伊勢原駅周辺のバリアフリー化が課題であったが、無電柱化や道路整備により、高齢者等の円滑な移動環境が確保できた。 ・伊勢原駅南地区の整備に伴う、地域愛着の高揚と協働による施設管理やまちづくり活動の活性化が課題だったが、地域住民や公園愛護会と連携したワークショップによる下原公園整備などの、愛着のある公園などができ、地域での管理につなげることができた。また、「地域における支え合い・助け合いの仕組みづくり」をはじめることができた。 ・伊勢原駅周辺の防災機能向上が課題であったが、誘導看板や貯水槽整備、防災無線の拡張整備等により災害時に対応するための機能が確保できた。 ・協同病院建設計画に伴う、周辺地区の道路整備や駅との接続強化やアクセス向上に関し、歩道整備等によりアクセスの向上を図ることができた。							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)		・公園愛護会や地域住民により、公園などが快適な空間として見守っていただけるようサポートしていく。 ・駅北口における街路や駅前広場など、交通の結節点機能向上の実現をめざす。また駅南口の駅前広場も同様に整備を進める。 ・「地域における支え合い・助け合いの仕組みづくり」事業をふまえ、地域交流の促進を図っていく。							